

事例番号:340359

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第四部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

妊娠 28 週 6 日 - 破水のため搬送元分娩機関受診し当該分娩機関へ母体搬送となり入院、超音波断層法で羊水過少を認める、胎児心拍数陣痛図で軽度および高度変動一過性徐脈を認める

#### 3) 分娩のための入院時の状況

管理入院中

#### 4) 分娩経過

妊娠 29 週 5 日

6:00 血液検査で CRP 1.16mg/dL

19:10 - 陣痛開始

妊娠 29 週 6 日

2:55 子宮底圧迫法で児娩出

胎児付属物所見 臍帯巻絡頸部 1 回、胎盤病理組織学検査で絨毛膜羊膜炎 stage2、臍帯炎を認める

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:29 週 6 日

(2) 出生時体重:1300g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.30、BE -5.9mmol/L

(4) Apgar スコア:生後 1 分 8 点、生後 5 分 9 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(ハック・マスク、チューブ・ハック)、気管挿管

(6) 診断等:

出生当日 早産児、極低出生体重児、新生児一過性多呼吸

(7) 頭部画像所見:

生後 53 日 頭部 MRI で脳室周囲白質軟化症の所見を認める

**6) 診療体制等に関する情報**

〈搬送元分娩機関〉

(1) 施設区分:診療所

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 1 名

〈当該分娩機関〉

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 2 名、小児科医 1 名

看護スタッフ:助産師 3 名、看護師 2 名

**2. 脳性麻痺発症の原因**

- (1) 脳性麻痺発症の原因は、出生までのどこかで生じた胎児の脳の虚血(血流量の減少)により脳室周囲白質軟化症(PVL)を発症したことであると考える。
- (2) 胎児の脳の虚血(血流量の減少)の原因を解明することは困難であるが、臍帯圧迫による臍帯血流障害の可能性を否定できない。
- (3) 子宮内感染が PVL の発症に関与した可能性がある。
- (4) 早産期の児の脳血管の特徴および大脳白質の脆弱性が PVL 発症の背景因子であると考える。

**3. 臨床経過に関する医学的評価(2020 年 4 月改定の表現を使用)**

**1) 妊娠経過**

- (1) 搬送元分娩機関における妊娠 28 週 3 日までの外来管理は一般的である。
- (2) 搬送元分娩機関における妊娠 28 週 6 日の受診時の対応(超音波断層法実施、子宮収縮抑制薬投与、抗菌薬投与、ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム注射液投与、前期破水のため母体搬送したこと)は一般的である。

- (3) 当該分娩機関へ入院後の管理(内診、血液検査、超音波断層法実施、分娩監視装置装着、子宮収縮抑制薬投与、抗菌薬投与、ベクタゾロン酸エステルナトリウム注射液投与)は一般的である。

## 2) 分娩経過

- (1) 妊娠 29 週 5 日陣痛開始を認め、29 週 6 日子宮収縮抑制薬の投与を中止し、経膈分娩としたこと、および分娩監視装置を連続的に装着したことは、いずれも一般的である。
- (2) 妊娠 29 週 6 日子宮底圧迫法の判断について診療録に詳細な記載がないため評価できない。子宮底圧迫法の判断、開始時刻・終了時刻および実施回数について記録がないことは一般的ではない。
- (3) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (4) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

## 3) 新生児経過

出生後の呼吸障害に対する対応(持続気道陽圧法、気管挿管、チューブ・バッグによる人工呼吸)は一般的である。

## 4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

### 1) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

#### (1) 搬送元分娩機関

なし。

#### (2) 当該分娩機関

子宮底圧迫法実施時は、医師の判断、開始時の児頭の位置、開始時刻・終了時刻および実施回数については、診療録に記載することが望まれる。

### 2) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

#### (1) 搬送元分娩機関

なし。

#### (2) 当該分娩機関

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

早産児のPVL発症の病態生理、予防に関して更なる研究の推進が望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。